

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原市農業協同組合本店(中央支店含む)新築工事	階数	地上5階,地下1階
建設地	相模原市中央区千代田一丁目5002番1,2,4,9~12	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域,準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2019年8月15日
敷地面積	2,653 m ²	作成者	株式会社ユニバース設計本社
建築面積	1,241 m ²	確認日	2019年9月5日
延床面積	6,537 m ²	確認者	株式会社ユニバース設計本社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

環境品質 C

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 84%

③上記+②以外のオンサイト手法 84%

④上記+オフサイト手法 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

Q3 室外環境(敷地内)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	耐用年数の高い内装材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境	自然換気有効面積が居室床面積の1/15以上、昼光率≧2.5%。F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している。	特になし。
LR1 エネルギー	BPI=0.84。非住宅 BEI=0.78。	特になし。
Q2 サービス性能	階高は3.9m以上、事務室の天井高2.7m。そして、事務所:床941㎏/㎡(20年)、壁ビニル(GB-R t9.5+12.5)(20年)、天井(岩綿吸音板) t15(30年)。また、給水SGP(D)、排水VP(B)、給湯SUS(C)。	特になし。
LR2 資源・マテリアル	躯体+LGS+仕上材を採用。ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	特になし。
LR3 敷地外環境	LCCO ₂ 削減率16%。	特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される